新潟県報道資料

別添資料Ⅳ

新潟県

平成27年12月24日
知事政策局政策評価室

「夢おこし」政策プラン推進のための県民意識調査等の結果についてお知らせします。

「夢おこし」政策プランの進捗状況を把握するとともに評価の基礎資料とするため、10月に実施した「県民意識調査」等の調査結果をお知らせします。

１　県民意識調査

(1) 調査概要

・調 査 期 間　平成27年10月２日（金）～ 10月19日（月）
・調 査 方 法　無作為抽出した一般県民2,000人に対する郵送アンケート
・有効回答者　1,123人（有効回収率　56.2%）

(2) 結果概要

「くらしやすさに関する県民満足度」11項目について
○ 昨年度との比較では、
・「満 足 層」：７項目で増加、３項目で減少（増減なし１項目）
・「不満足層」：11項目全て減少
○ 初回調査（18年度）との比較では、
・全項目で満足層が増加し、不満足層が減少

２　首都圏調査

(1) 調査概要

・調 査 期 間　平成27年10月16日（金）～ 10月18日（日）
・調 査 方 法　インターネット調査
・有効回答数　首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）居住者　1,252人

(2) 結果概要

「首都圏以外で住んでみたい道府県」について、「新潟県に住んでみたい」と答えた人の割合が5.4%、全国順位は22位となった。

※ 各調査結果の詳細版（報告書冊子）は、別途、棚入れします。

本件についてのお問い合わせ先
政策評価室 行政評価担当　白沢政策企画員
（直通）025-280－5030　（内線）2136

新潟県「夢おこし」政策プラン推進のための
県民意識調査等の調査結果について

平 成 27 年 12 月 24 日
知事政策局政策評価室

1　県民意識調査

（1）くらしやすさに関する県民満足度（計11項目）

【昨年度との比較】

● 11項目のうち
- 「満 足 層」:7項目で増加、3項目で減少（増減なし1項目）
- 「不満足層」:11項目全て減少

● 増減が大きい主なもの	満足層	不満足層
② 自然災害や、犯罪・交通事故が少ないなど、安全・安心に暮らせること	【＋ 6.7】	【▲ 5.1】
④ ﾌﾞﾛｰﾄﾞﾊﾞﾝﾄﾞや携帯電話などの情報通信環境が十分に整備されていること	【＋ 4.7】	【▲ 5.4】
⑤ 男女が平等な社会であること	【＋ 6.1】	【▲ 0.6】

※下段:対前年比

直近3年間の経年変化			満足層			不満足層		
			25年度	26年度	27年度	25年度	26年度	27年度
①	危機に対して迅速・的確な対応を行う体制が確立されていること	【防災局】	25.9% ＋ 2.8	26.2% ＋ 0.3	30.5% ＋ 4.3	20.4% ▲ 1.0	18.2% ▲ 2.2	14.4% ▲ 3.8
②	自然災害や、犯罪・交通事故が少ないなど、安全・安心に暮らせること	【県民生活・環境部】〔政策指標6〕	52.7% ＋ 0.8	52.1% ▲ 0.6	58.8% ＋ 6.7	18.3% ▲ 1.4	17.7% ▲ 0.6	12.6% ▲ 5.1
③	自然環境や、水・大気などを含めた生活環境が大切にされていること	【県民生活・環境部】	54.9% ＋ 2.1	57.5% ＋ 2.6	56.6% ▲ 0.9	13.4% ＋ 0.5	8.8% ▲ 4.6	7.7% ▲ 1.1
④	ﾌﾞﾛｰﾄﾞﾊﾞﾝﾄﾞや携帯電話などの情報通信環境が十分に整備されていること	【総務管理部】〔政策指標11〕	49.2% ▲ 2.3	51.8% ＋ 2.6	56.5% ＋ 4.7	17.7% ＋ 1.4	16.5% ▲ 1.2	11.1% ▲ 5.4
⑤	男女が平等な社会であること	【県民生活・環境部】	33.7% ▲ 4.1	29.0% ▲ 4.7	35.1% ＋ 6.1	16.7% ▲ 0.3	17.1% ＋ 0.4	16.5% ▲ 0.6
⑥	NPOやボランティア活動が活発なこと	【県民生活・環境部】	20.0% ▲ 1.2	22.2% ＋ 2.2	22.2% ―	14.4% ＋ 1.3	13.6% ▲ 0.8	10.7% ▲ 2.9
⑦	子育ての環境が十分に整備されていること	【福祉保健部】〔政策指標2〕	27.5% ＋ 0.5	25.8% ▲ 1.7	27.7% ＋ 1.9	27.7% ＋ 0.3	28.9% ＋ 1.2	24.0% ▲ 4.9
⑧	福祉が充実していること	【福祉保健部】〔政策指標12〕	29.8% ＋ 0.9	27.3% ▲ 2.5	26.5% ▲ 0.8	25.5% ▲ 0.5	25.5% ―	24.8% ▲ 0.7
⑨	保健・医療が充実していること	【福祉保健部】	33.1% ▲ 0.9	31.9% ▲ 1.2	36.8% ＋ 4.9	30.6% ＋ 1.3	30.1% ▲ 0.5	25.5% ▲ 4.6
⑩	一人ひとりの個性や能力を伸ばす教育が行われていること	【教育庁】〔政策指標16〕	22.2% ＋ 2.2	24.6% ＋ 2.4	25.6% ＋ 1.0	23.7% ▲ 3.2	22.7% ▲ 1.0	17.5% ▲ 5.2
⑪	芸術文化やスポーツに親しむ機会や場が十分あること	【県民生活・環境部】	34.9% ▲ 0.8	38.4% ＋ 3.5	37.9% ▲ 0.5	28.7% ＋ 3.6	24.5% ▲ 4.2	21.5% ▲ 3.0

※ 満足層＝満足＋ほぼ満足 ※ 不満足層＝やや不満＋不満

【初回調査との比較】

● 全項目で満足層が増加し、不満足層が減少

● 増減が大きい主なもの	満足層	不満足層
③ 自然環境や、水・大気などを含めた生活環境が大切にされていること	【＋15.7】	【▲18.7】
⑦ 子育ての環境が十分に整備されていること	【＋ 8.7】	【▲19.4】
⑩ 一人ひとりの個性や能力を伸ばす教育が行われていること	【＋14.4】	【▲20.5】

初回調査（平成18年度）との比較			満足層		不満足層	
			18年度	27年度	18年度	27年度
①	危機に対して迅速・的確な対応を行う体制が確立されていること	【防災局】	22.0% ―	30.5% + 8.5	23.5% ―	14.4% ▲ 9.1
②	自然災害や、犯罪・交通事故が少ないなど、安全・安心に暮らせること	【県民生活・環境部】〔政策指標6〕	44.1%	58.8% + 14.7	23.6% ―	12.6% ▲ 11.0
③	自然環境や、水・大気などを含めた生活環境が大切にされていること	【県民生活・環境部】	40.9% ―	56.6% + 15.7	26.4% ―	7.7% ▲ 18.7
④	ﾌﾞﾛｰﾄﾞﾊﾞﾝﾄﾞや携帯電話などの情報通信環境が十分に整備されていること	【総務管理部】〔政策指標11〕	41.4% ―	56.5% + 15.1	23.8% ―	11.1% ▲ 12.7
⑤	男女が平等な社会であること	【県民生活・環境部】	26.7% ―	35.1% + 8.4	25.8% ―	16.5% ▲ 9.3
⑥	NPOやボランティア活動が活発なこと	【県民生活・環境部】	17.9% ―	22.2% + 4.3	21.6% ―	10.7% ▲ 10.9
⑦	子育ての環境が十分に整備されていること	【福祉保健部】〔政策指標2〕	19.0% ―	27.7% + 8.7	43.4% ―	24.0% ▲ 19.4
⑧	福祉が充実していること	【福祉保健部】〔政策指標12〕	24.1% ―	26.5% + 2.4	39.1% ―	24.8% ▲ 14.3
⑨	保健・医療が充実していること	【福祉保健部】	30.9% ―	36.8% + 5.9	41.4% ―	25.5% ▲ 15.9
⑩	一人ひとりの個性や能力を伸ばす教育が行われていること	【教育庁】〔政策指標16〕	11.2% ―	25.6% + 14.4	38.0% ―	17.5% ▲ 20.5
⑪	芸術文化やスポーツに親しむ機会や場が十分あること	【県民生活・環境部】	31.2% ―	37.9% + 6.7	32.9% ―	21.5% ▲ 11.4

（2）各夢おこし政策の政策指標（計16項目）

【昨年度との比較】

● 16指標のうち、7指標で向上

● 増減が大きい主なもの

		26年度		27年度
6	「自然災害や犯罪・交通事故が少なく安全・安心に暮らせる」と感じる県民の割合	52.1%	→	58.8%【＋6.7】
10	放射性物質に対する対策が不十分と感じる県民の割合	40.7%	→	43.8%【＋3.1】
11	情報通信環境が十分に整備されていると感じる県民の割合	51.8%	→	56.5%【＋4.7】

【初回調査との比較】

● 16指標のうち、14指標で向上

● 増減が大きい主なもの

		初回調査		27年度
6	「自然災害や犯罪・交通事故が少なく安全・安心に暮らせる」と感じる県民の割合	44.1%	→	58.8%【＋14.7】
11	情報通信環境が十分に整備されていると感じる県民の割合	41.4%	→	56.5%【＋15.1】
16	「個」を伸ばす教育が行われていると感じる者の割合	11.2%	→	25.6%【＋14.4】

			経年変化（25年度から27年度）			初回調査との比較	
出産・子育て・元気・長生き対策（政策の柱1.[2]）			25年度	26年度	27年度	18年度	27年度
1	健康で充実した生活を送っていると感じる県民の割合	【福祉保健部】	65.0% ▲ 2.2	64.5% ▲ 0.5	63.4% ▲ 1.1	66.9% ―	63.4% ▲ 3.5

			25年度	26年度	27年度	18年度	27年度
子どもを産み育てる環境整備対策（政策の柱1.[2]①） 安心して子育てをする環境の構築（政策の柱 3.[7]）							
2	子育ての環境が整備されていると感じる県民の割合	【福祉保健部】 〔県民満足度⑦〕	27.5% ＋ 0.5	25.8% ▲ 1.7	27.7% ＋ 1.9	19.0% ―	27.7% ＋ 8.7

			25年度	26年度	27年度	18年度	27年度
元気・長生き対策（政策の柱1.[2]②） 健康づくりの支援（政策の柱3.[9]①）							
3	健康づくりを心がけている県民の割合	【福祉保健部】	95.6% ＋ 0.3	96.6% ＋ 1.0	95.9% ▲ 0.7	91.2% ―	95.9% ＋ 4.7

			25年度	26年度	27年度	18年度	27年度
くらしやすさの発信（政策の柱1.[3]）							
4	「現在住んでいる地域にこれからも住み続けたい」県民の割合	【県民生活・環境部】	73.8% ▲ 1.2	72.3% ▲ 1.5	74.7% ＋ 2.4	76.3% ―	74.7% ▲ 1.6

			25年度	26年度	27年度	19年度	27年度
危機管理体制の整備（政策の柱3.[1]）							
5	災害・危機に関して的確な対応が行われていないと感じる県民の割合	【防災局】	5.8% △ 2.6	6.5% ＋ 0.7	6.1% △ 0.4	20.2% ―	6.1% △ 14.1

※19年度から調査

			経年変化（25年度から27年度）			初回調査との比較	
災害に強いふるさとづくり・防犯の推進（政策の柱3.[2]）			25年度	26年度	27年度	18年度	27年度
6	「自然災害や犯罪・交通事故が少なく安全・安心に暮らせる」と感じる県民の割合	【県民生活・環境部】〔県民満足度②〕	52.7%	52.1%	58.8%	44.1%	58.8%
				+ 0.8	▲ 0.6	+ 6.7	―	+ 14.7
安全・安心な社会基盤の整備（政策の柱3.[2]②）			25年度	26年度	27年度	18年度	27年度
7	自然災害に対し、安全・安心と感じられる県民の割合	【土木部】	44.5%	47.0%	45.9%	38.1%	45.9%
				+ 4.1	+ 2.5	▲ 1.1	―	+ 7.8
防災意識の向上と地域防災力の向上（政策の柱3.[2]③）			25年度	26年度	27年度	18年度	27年度
8	災害や危機に対し、自ら対策を講じている県民の割合	【防災局】	53.0%	55.6%	56.5%	54.0%	56.5%
				▲ 2.9	+ 2.6	+ 0.9	―	+ 2.5
環境の保全と循環型の地域社会づくり（政策の柱3.[4]）			25年度	26年度	27年度	18年度	27年度
9	県民の環境に関する満足度	【県民生活・環境部】	60.2%	62.8%	61.5%	49.4%	61.5%
				+ 1.1	+ 2.6	▲ 1.3	―	+ 12.1
安全で快適な環境づくり（政策の柱3.[4]②）			25年度	26年度	27年度	25年度	27年度
10	放射性物質に対する対策が不十分と感じる県民の割合	【防災局】	51.5%	40.7%	43.8%	51.5%	43.8%
			（新規）	△ 10.8	+ 3.1	―	△ 7.7
						※25年度から調査	
情報インフラの整備（政策の柱3.[5]）			25年度	26年度	27年度	18年度	27年度
11	情報通信環境が十分に整備されていると感じる県民の割合	【総務管理部】〔県民満足度④〕	49.2%	51.8%	56.5%	41.4%	56.5%
				▲ 2.3	+ 2.6	+ 4.7	―	+ 15.1
地域で支える福祉の推進（政策の柱3.[8]）			25年度	26年度	27年度	18年度	27年度
12	福祉の満足度	【福祉保健部】〔県民満足度⑧〕	29.8%	27.3%	26.5%	24.1%	26.5%
				+ 0.9	▲ 2.5	▲ 0.8	―	+ 2.4
食の安全確保（政策の柱3.[10]）			25年度	26年度	27年度	18年度	27年度
13	食の安全確保の取組が十分に行われていると感じる県内の住民の割合	【福祉保健部】	53.8%	55.7%	54.3%	42.3%	54.3%
				▲ 1.2	+ 1.9	▲ 1.4	―	+ 12.0
14	食の安全確保の取組が十分に行われていると感じる県外の住民の割合	【福祉保健部】※首都圏調査	48.2%	47.8%	46.1%	42.9%	46.1%
				▲ 2.4	▲ 0.4	▲ 1.7	―	+ 3.2
安全で安心な食生活の享受（政策の柱3.[10]①）			25年度	26年度	27年度	18年度	27年度
15	県から食の安全・安心についての情報が十分に提供されていると感じる県民の割合	【福祉保健部】	35.0%	34.7%	32.3%	23.6%	32.3%
				▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 2.4	―	+ 8.7
教育の充実（政策の柱3.[11]）			25年度	26年度	27年度	18年度	27年度
16	「個」を伸ばす教育が行われていると感じる者の割合	【教育庁】〔県民満足度⑩〕	22.2%	24.6%	25.6%	11.2%	25.6%
				+ 2.2	+ 2.4	+ 1.0	―	+ 14.4

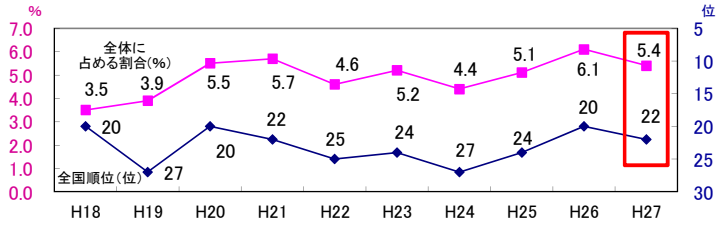
※ 減少が望ましい指標（№5、№10）における減少割合は、△で表示

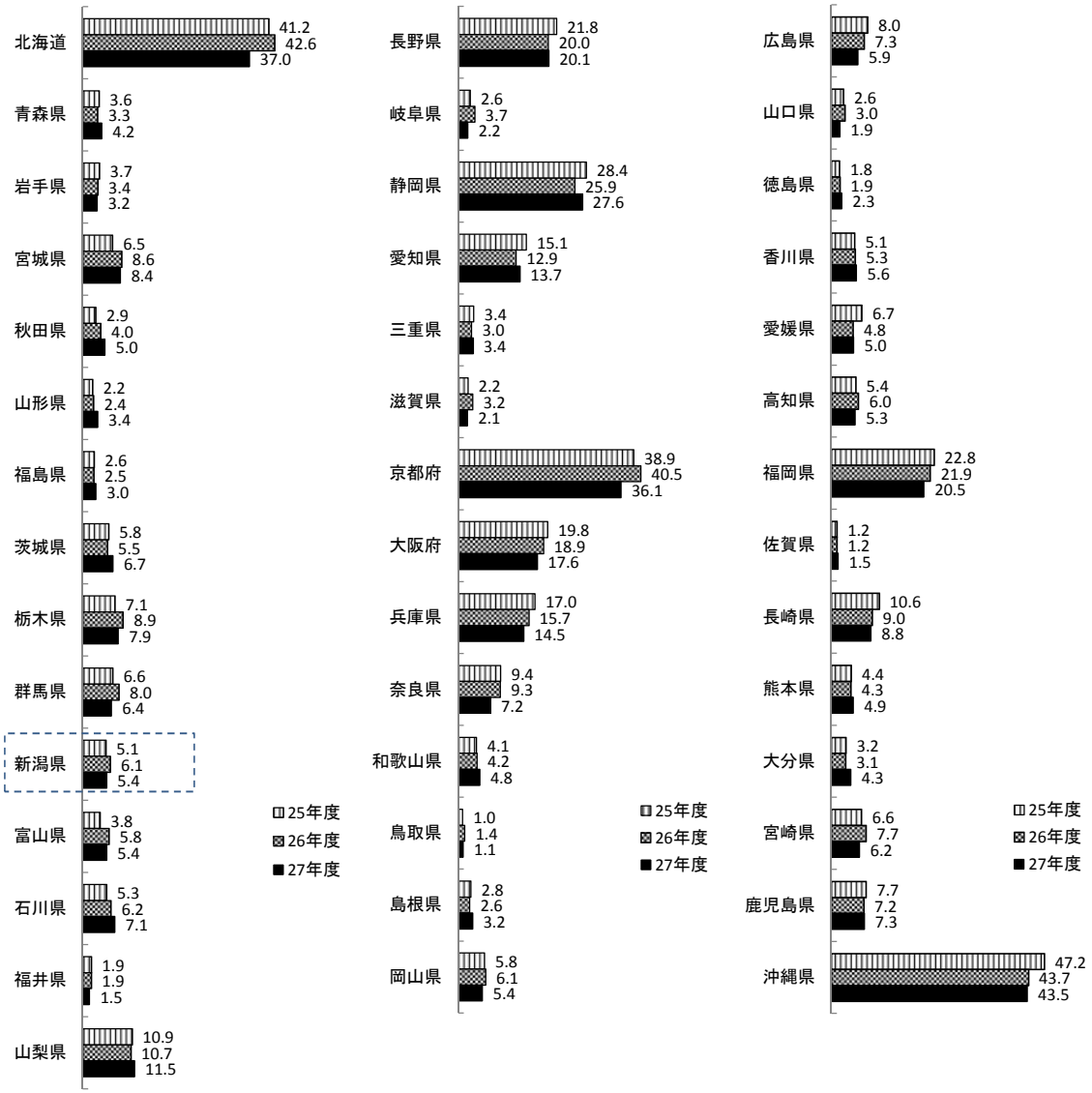
２　住んでみたい道府県調査（首都圏調査）

住んでみたい道府県（首都圏以外）

※ 首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）以外で住んでみたい県を5つ選択

○　「新潟県に住んでみたい」と回答した割合
25年度：5.1%（24位）→ 26年度：6.1%（20位）→ 27年度：5.4%（22位）
※ 過去最高だった昨年度に比べ若干減少したものの、20位台前半を推移



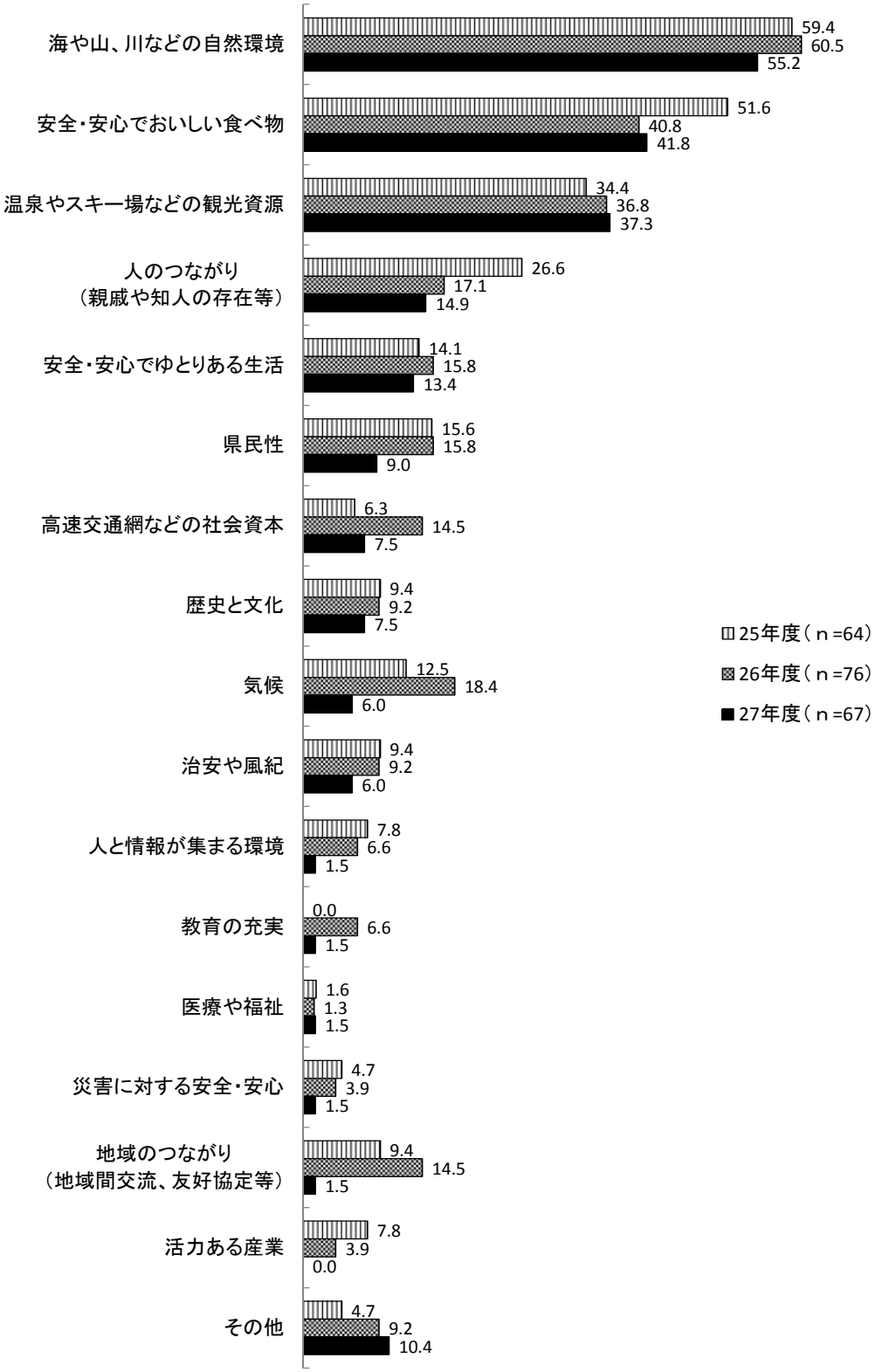


	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	新潟県	
18年度（初回）	沖縄県 49.7%	北海道 35.8%	京都府 32.0%	静岡県 19.5%	大阪府 15.0%	福岡県 13.7%	長野県 13.0%	兵庫県 10.4%	愛知県 8.0%	長崎県 7.0%	3.5%	20位

25年度	沖縄県 47.2%	北海道 41.2%	京都府 38.9%	静岡県 28.4%	福岡県 22.8%	長野県 21.8%	大阪府 19.8%	兵庫県 17.0%	愛知県 15.1%	山梨県 10.9%	5.1%	24位
26年度	沖縄県 43.7%	北海道 42.6%	京都府 40.5%	静岡県 25.9%	福岡県 21.9%	長野県 20.0%	大阪府 18.9%	兵庫県 15.7%	愛知県 12.9%	山梨県 10.7%	6.1%	20位
27年度	沖縄県 43.5%	北海道 37.0%	京都府 36.1%	静岡県 27.6%	福岡県 20.5%	長野県 20.1%	大阪府 17.6%	兵庫県 14.5%	愛知県 13.7%	山梨県 11.5%	5.4%	22位

住んでみたいと思う理由（新潟県）

○　**新潟県を選んだ理由**〔上位３項目〕

１位	「海や山、川などの自然環境」	55.2%
２位	「安全・安心でおいしい食べ物」	41.8%
３位	「温泉やスキー場などの観光資源」	37.3%

〔複数回答可（%）〕